

日本洋装界の歴史は日本洋装協会の歴史



一般社団法人 日本洋装協会  
 事務局 〒113-0034  
 東京都文京区湯島4-8-3-307  
 TEL (03)3814-7023  
 FAX (03)3814-7023  
 発行人 伊賀 玲子  
 編集人 三結イツ子  
 リビ 裕子  
 高橋 里子  
 ※NDAモード通信は年3回発行



NDA公式  
You Tube

発行所 一般社団法人 日本洋装協会

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい初春をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年は皆様のお力添えを頂き、諸行事も無事に終える事が出来ました。心から感謝申し上げます。慶びの受章としましては、佐藤順子理事長が「黄綬褒章」を受章、酒井啓子先生、小幡明子先生が「現代の名工」を受章されました。

八月には、九回目となる「匠の技の祭典」が行われ、ファッションショーはもとより、実演にも力を入れ、今回はオーダー仕立



## 新年を迎えて

(一社)日本洋装協会  
 会長 伊賀 玲子



## 新年のご挨拶

参議院議員  
 (一社)日本洋装協会  
 名誉会長 山東 昭子

新年明けましておめでとうございます。昨年は元旦に発生した能登半島地震などつらい生活を強いられた方々も多く、とても胸が痛む思いがございました。世界を見渡しても各地で戦争が続いています。平和を享受している我が国でも日々、感謝の気持ちを忘れずに、私たちができる復興支援に心が和む様な衣服の提案などもあってもいいのではと感じます。寒い日が続くこの頃は身体にも充分配慮した洋服選びが必要です。健康を意識した衣服が好

まれることでしょうか。本年は巳年です。脱皮を繰り返して成長していく年とも言われています。新たに生まれ変わる象徴とも言われ、お洒落にもそうした観点を取り入れ、気候や健康などを考慮した衣服選びを心がけていかれるのはいかがでしょうか？

日本洋装協会の皆様におかれましては日々の研鑽の上に更なる技術の向上を目指しご活躍されることを願っています。

のPRコーナーを設けました。飛躍の一步を踏み出せるこの祭典にもっと挑戦していきたいと考えています。十月には、隔年開催となりました、全日本洋装技能コンクールを華やかに行う事が出来ました。会場も渋谷に変わり、慣れない場所ではありましたが、皆様のご支援とご協力に心から感謝申し上げます。又、来年開催となるコンクールも、どうぞ宜しくお願い致します。皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

小幡明子先生、酒井啓子先生  
 (現代の名工)受章祝賀会並びに  
 (一社)日本洋装協会新年会開催

令和7年1月17日(金)、ホテルグランウドヒル市ヶ谷に於いて、山東昭子名誉会長、大関東支夫(一社)全国技能士会連合会会長をはじめ、各業界のご来賓(14名)をお迎えして盛大に開催されました。司会は石原洋子、黒澤旬子の両氏で進行致しました。

式典は令和6年度「現代の名工」の受章者、小幡明子先生、酒井啓子先生の表彰にはじまり、認定校永年勤続在籍者、技能検定合格者の表彰式と続き、受章者を代表して小幡明子氏が謝辞を述べられました。

その後、豪華な景品が当たるビンゴゲームで祝宴を楽しみ、新年度をスタート致しました。



卓越技能章

「現代の名工」を受章して



小幡 明子  
(東京都)

当協会に所属して数十年になります。山本やい子先生のお導きが大きかったです。

国家検定一級合格、グランプリ大会で準優勝した時には、先生が涙して喜んで下さった事が昨日の様です。

厚生部長、検定部長を経験して現在は、日本洋裁技能士会会長を務めております。

オーダーのお店を始めてからは、スタッフ三人でこなさきれない程大盛況でした。長くは続かないと予想し、ドレスメーカー学院の杵柄を生かし、教室の設立を思いたち、一大決心をして小さなビルを建設しました。

オーダーの店も教室も今でも順調です。在籍25年の生徒さんも多く、地域の産業展に出品するほどプロ並みに成長しております。

まだまだ、私は名工と称されるような自信はなく、自己研磨は続いております。顧客に応え、生徒達とは、ものづくりの楽しさを共有し、次のステージを目指します。当協会も、若い後輩達が常に、前進して行く姿は感動するほどうれしものがあります。

山本先生にも報告したいと思えます。日本洋裁協会は益々発展していきますよ。すべてに感謝致します。

卓越技能章

「現代の名工」



酒井 啓子  
(石川県)

令和6年11月、リーグロイヤルホテル東京に於いて、身に余る光栄な賞を頂きました。私を支えて下さった皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

思い起こすに、洋裁を始めて66年、洋裁学校の助手や洋装店のデザイナーをしながら、23歳で洋裁教室を設立、生徒数8名よりスタート致しました。

昭和30年代、街は洋装店や布地の店で大いに賑わい、教室は花嫁修業の多くの生徒さんに恵まれた時代でした。

その後、増えた4教室をただ忙しかけ巡る中、平成17年、日本洋裁協会から運命の電話があり入会させていただいたことで、私の人生は大きく変わりました。それまで考えも及ばなかった技能検定、全日本洋装技能コンクールへの出品、皆様方と交流を深める中で得た新しい技術、全技連マイスター認定、そして、現代の名工と、数々のご恩を頂きました。

ひとえに、日本洋裁協会の歴代の会長様方、会員の皆様方のお導きによるものと厚くお礼申し上げます。

今後は後継者育成に全力で取り組むことで、微力ながら協会の発展にお返しできますよう努力していく所存です。ありがとうございます。

長崎県知事表彰

「優れた技能者」



馬場 明子  
(長崎県)

この度、令和6年11月11日、第53回長崎県技能士大会において、長崎県知事表彰、並びに技能振興功労者として長崎県職業能力開発協会長賞を受章する事となりました。

これも偏に推薦頂きました日本洋装協会の会長様はじめ、これまでご指導頂きました諸先生方のお陰と深く感謝申し上げます。

平成28年に夫の退職に伴い、ふるさと長崎に帰省して参りました。帰省して8年目、洋裁教室を開校、グランプリ出場、技能検定試験合格、ものづくり活動と、長崎の地に根付く事が出来ました。

この様な素晴らしい賞を頂く事も出来ました。技能検定においては、他県まで出向いていかなないと受験できませんでしたが、年々受験者も増えて長崎での受験が可能となり大変喜ばしく思います。

指導者も増えてきましたし、合格者も増えてまいりました。

今後は一人でも多くの洋裁教室の指導者を育成し、洋裁人口が増えますよう、普及活動に精進してまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



千葉県支部  
第55回千葉県職業能力  
開発促進大会の報告

小賀 公恵 (千葉県)

令和6年12月18日、千葉県青葉の森公園芸術文化ホールにて第55回千葉県職業能力開発促進大会が行われました。この大会での表彰は、各分野において活躍した技能士たちを称えるものです。

千葉県の名工に荒川浩美氏(技能協会より推薦され、技能グランプリにおいて3位という成績を収めました)、技能検定功労者に家内千恵子氏、廣谷さくゑ氏、遠藤順子氏の3名(検定準備から評価まで検定委員を7年以上勤められました。特に家内氏は10年勤められ知事から感謝状を送られました)、技能士会連合会長に小賀が表彰されました。

又、千葉支部より、ものづくりマイスターに2名が認定されました。地道な活動ですが、これからの謙虚な気持ちも忘れず、歩んでいきたいと思えます。推薦人に感謝を込めて。



第55回 千葉県職業能力開発促進大会

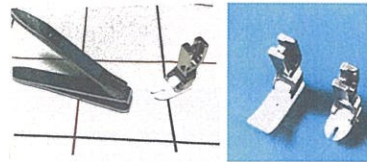
職人の小技②  
中縫いのポケット作りに便利な  
アタッチメント作り

千田 芳江

○用意するもの  
・プラスチックのアタッチメントと爪切り  
・またはカッターとやすり

○素材を小さく薄い形に加工する。

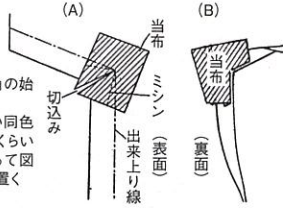
「国家技能検定二級課題の中縫いのアウトポケットや、裏付ポケット作りに便利です。」



プラスチックのアタッチメントは簡単に加工出来ます。

職人の小技①  
ほつれやすい角の始末の仕方を使って  
「デザインを豊富にしましょう」

○表地より薄い同色の布(裏地)を3センチくらいの大きさに切って、バイアスに置く。出来上がりの線から縫い代の角の先端は返し針をして、角の際まで切り込みを入れて、アイロンをかける。切り替えるの布と縫い合わせる。V型の角が決まり、応用範囲が広い小技です。



角作り  
ほつれやすい角の始末の仕方です。表地よりも薄い同色の布を3センチくらいの大きさに切って図のように中表に置く

「法隆寺芸術祭2024」に  
展示、紀行

廣谷きくゑ(千葉県)

11月22日より3日間、世界遺産登録から30年目に当たる法隆寺聖徳会館に於いて「法隆寺芸術祭2024」が開催されました。

正岡明氏(子規の孫)監修の元、現在活躍されている方の書道、絵画等180点の展示は、奥深く表現され、監修の素晴らしさを感じました。洋裁では、バルーンドレスを展示させて頂きました。

畏れ多くも聖徳太子像を背に中央に展示されましたが、「和を以て貴しとなす」の言葉のとおり、大変調和が取れていたため、多くの方に称賛を頂けました。私の今後の展示においても指標としたいと感じました。日本が大陸の最先端の影響を受けながら、文化、政治、宗教の基礎を作り上げた地、穏やかで、秋深い悠久の斑鳩での感動の3日間でした。

又、(株)国民みらい社より2025年3月に作品写真および紀行文を掲載した冊子が有料にて発刊されます。



東北地区創立10周年記念  
事業に参加して

白井富美子(東京都)

昨年10月21〜22日に、東北地区の10周年記念事業の一環として、山形赤湯温泉(一泊)にて、技能講習会が行われました。本部からの参加は7名、総勢29名でした。

高野地区長のご尽力で、山形県和裁士会顧問の情野幸子氏による「和裁士から学ぼう」というテーマで講義があり和裁の手法の奥深さと、神技とも思える先生の技術を学んで参りました。実技では「切りばみ」の技法を披露

して頂き、ミシン縫いか手縫いかわからない程の針目に驚きました。この技法は是非とも習得したい技でした。洋裁にも充分に生かせる和裁の繊細な技法を学んで参りました。

細かな所まで教えて下さるのは、先生のお人柄かと感謝致します。

宿泊のお宿は米沢藩主上杉鷹山公の別荘であった歴史ある旅館でした。湯量豊富な岩風呂で心身ともに癒され、また奥羽路も満喫した研修旅行でした。



須藤玲子  
Making NUNO Textiles展

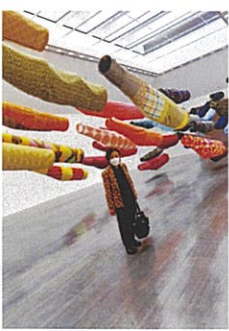
佐々木悦子(茨城県)

「何を差し置いてもこの展示会は観る」と千田芳江先生からご連絡を頂いたのは、去年の五月、水戸芸術館美術ギャラリーで開催された表題の展示会です。先生の熱い思いに誘われて同行させて頂く事にしました。

テキスタイルデザインなので、生地屋さんのように美しい作品陳列の鑑賞を想像していましたが、そこには体験型の展示空間が広がっていました。NUNOたちは、天に昇る勢いで龍

になっていました。本来ならば覗く事など出来ない作者の発想の原点や小さな古裂からの情報に慈しみや憧憬の念を感じます。又、

伝統から脈々と受け継がれた、織物事業者との科学反応+異文化、異素材から情報を試行錯誤し、新たな愛らしいネーミングを伴ったNUNO。須藤玲子氏の言葉で「人間は、指先に繊細なセンサーを持っている」と言う。確かに微妙な情報を私達は日頃よりこの指先で感じている。素晴らしい事です。観て、触って、体験する、千田先生がいいつも生地との対話を大切にされていますが、その事を痛切に思う日になりました。



REPORT No.72

K・HIBI洋裁立体裁断 STUDIOコレクション 日比 和子(東京都)

去る、11月27日〜12月1日迄の5日間、お天気に恵まれた秋晴れの日々の中、世田谷美術館区民ギャラリーにて、2年前から開催を延期してありました「K・HIBI洋裁立体裁断STUDIOコレクション」を開催いたしました。

2009年より毎年、全日本洋装技能コンクールに出品していただきました受賞作品や、2019年 第23回FAMT(アジア高級注文洋服業者連盟)台湾(台北)の作品、又、2011年 第34回WFM T(世界高級注文洋服業者連盟)イタリア(ローマ)から10年間、毎年国際ファッションショーに出展した作品や、2019年 第38回世界大会 イタリア(ペローナ)よりコロナ禍の為、一時中止となりましたが、再開した、2024年 第28回FAMTマレーシア(クアランプール)に出展した思い出のドレスを展示できました。



まで、生徒さんの作品を含めて42点の個性溢れる作品を出展いたしました。開催中は280名余りのご来場者がありました。数には入りませんが小学4年生の団体による見学もあり、私達を楽しませてくれました。ホールも広々としておりましたので、作品をゆつたり鑑賞して頂けたかと思えます。又、皆様からは、○手作りの良さが感動的で心が豊かになりました。○着物や帯をドレスにしたユニークな作品に感銘しました。○細かい所の手作業に感動しました。○製作者の方が楽しんで作られたのが伝わってきました。○次回の作品展にもお声をかけて頂きたい。等の感想やお言葉を頂戴いたしました。



第62回 技能五輪全国大会を終えて 中林 理香(東京都)

令和6年11月22日〜25日まで愛知県国際展示場にて、技能五輪全国大会が開催されました。技能五輪全国大会は国内の青年技術者を対象に、技能競技を通じ、技能尊重機運の醸成に資することを目的として実施する大会です。今年の競技課題はプリンセスラインのテーラードジャケットを2日間(10時間以内)で製作するというものでした。ポケットは両玉フラップ、箱ポケット、アウトポケットの3種類から、当日に選手がくじ引きを行い決定されます。その為、選手は3種類のポケットを覚える必要があり、かなり難度の高い課題であると感じました。袖口は本開きみせ・額縁仕立て、さらにボタンホールつくりは合計7個もあり、時間内に完成するかどうか心配致しましたが、18名の選手の皆様は全員時間内に仕上げる事ができました。そのことから、日々の努力が垣間見られ、熱心な指導者の下、この大会に挑まれたことが想像でき、私自身も身を引き締められる良い機会となりました。今後若い方が興味をもち、洋裁士が育つことを期待致します。

今年度の競技課題はプリンセスラインのテーラードジャケットを2日間(10時間以内)で製作するというものでした。ポケットは両玉フラップ、箱ポケット、アウトポケットの3種類から、当日に選手がくじ引きを行い決定されます。その為、選手は3種類のポケットを覚える必要があり、かなり難度の高い課題であると感じました。袖口は本開きみせ・額縁仕立て、さらにボタンホールつくりは合計7個もあり、時間内に完成するかどうか心配致しましたが、18名の選手の皆様は全員時間内に仕上げる事ができました。そのことから、日々の努力が垣間見られ、熱心な指導者の下、この大会に挑まれたことが想像でき、私自身も身を引き締められる良い機会となりました。今後若い方が興味をもち、洋裁士が育つことを期待致します。



NDANEWS II http://nhonyosour.jp/

現代の名工受章 小幡 明子(東京都) 酒井 啓子(石川県) 長崎県知事表彰 馬場 明子(長崎県) 「優れた技能者」 令和6年12月18日(水) 第55回千葉県職業能力開発促進大会 令和6年12月20日(金) ネットの使い方講習会 (Zoom体験してみよう) 東京洋服会館ロビー 令和7年1月8日(水) 紳士服合同新年会 6名参加 ホテルグランドヒル市ヶ谷(白樺の間) 令和7年1月17日(金) 新年祝賀会 ホテルグランドヒル市ヶ谷(芙蓉の間) 令和7年1月31日(金) 東技連 新年会 KKRホテル 令和7年2月24日(祝) 春のセミナー・教育部 ハイブランド風オートクチュール ワンピースの縫製技術と研究 東京洋服会館ジェントリーホール 令和7年5月18日(日) 総会 東京洋服会館 ジェントリーホール 懇親会 ホテルグランドヒル市ヶ谷(珊瑚の間)

一計報一 名誉会員 石川宮子様が令和6年11月、宮城県支部(顧問)大友明子様を令和6年12月に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

【お詫びと訂正】 モード通信27号の1級合格者の名前に誤りがありました。誌面をお借りし、お詫びと訂正をさせていただきます。(誤) 田中直子↓(正) 田子直子